

平成25年度全国高等学校選抜自転車競技大会 大会特別規則

競技運営委員長 坂井田米治
総務委員長 中梶 秀則
審判長 寺崎 豪紀

共通事項

(1) ヘルメット

公認エアロヘルメットは試合時に限り、下記の種目で使用を認める。

200mTT (スプリント予選), タイム・トライアル, パーシュート

(ただし、公認エアロヘルメットでJCFのHP上で注釈がついていないものはすべての競技で使用を認める。)

(2) ヘルメットカバー

ア トラック・レースのケイリン, ポイント・レース, スクラッチで使用する。

配付および回収はホーム側招集場所で行う。

イ 女子ロード・レースではヘルメットカバーを使用する。

(3) フレーム・規定外自転車

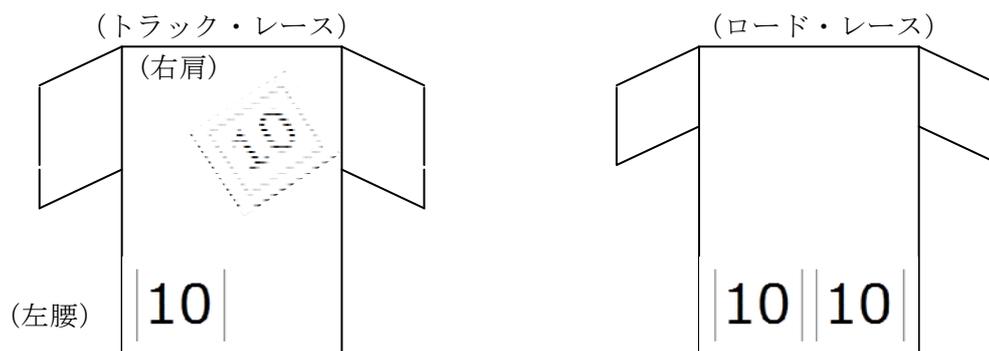
上記の使用を希望する者は、申請書をライセンスコントロール時に学校単位(男女別)にまとめて提出する。なお、申請書は専門部ホーム・ページからダウンロードすること。

※1 プリヂストン・サイクル社製カーボンフレーム (FPCPT) は、使用を認めるので申請の必要はない。

※2 上記に類するフレーム, 身体形態上の理由により規定外のサイズの自転車を使用する場合は、申請の必要がある。

※3 申請記載事項によって、大会中に随時検査を実施する。

(4) ボディ・ナンバー (ゼッケン) 装着方法



男子ロード・レースでは、ヘルメット側面に番号シール, フレームにはプレートを右側から確認できるように装着する。

ゼッケンは、折り曲げたり切ったりしてはならない。

(5) コミュニケ

ア コミュニケ等は指定された掲示板上に貼付する。

イ スタートリスト, リザルトは配付しない。HPにアップするので、利用すること。

トラック・レース

(1) 走路の入退場（選手・監督等）

入・退場は階段状のロールバック席を利用する。走路への入場はホーム側、退場はバック側に限定する。

(2) 招集所

アリーナ内（ホーム側）に設置する。出走意志、ジャージ、ヘルメットおよびボディナンバー等の確認並びにケイリンの抽選を行う。

(3) 自転車検査（ギヤ比検査を含む）

ア アリーナから走路に入る自転車は、すべて無作為抽出により検査を行う。

イ 再入場時は検査の対象となる。

ウ スタートに間に合わない場合は、出走することはできない。代車（代輪）も同様とする。

エ 競技終了後、指示を受けた競技者は、ギヤ比検査を受けること。

オ タイムトライアル、パーシュートについては、選択するポジションを申告すること。申告方法については監督会議で説明する。

(4) ホルダー

タイム・トライアル、パーシュート以外の種目は、各チームのスタッフがホルダーを務める。

(5) 競技中の指示および場所

ア タイム・トライアル、パーシュートはスタートライン付近とする。ポイント・レース、スクラッチはバック側直線の指定場所に1名のみ認める。

イ 集団競技において指示する場合は、選手のヘルメットカバーと同番号のビプスを着用する。ビプスはバック側の階段付近で配布、回収する。

従わない場合はペナルティを与えることがある。

(6) タイム・トライアル

ア スタート方法

スターティングマシンを使用し、50秒カウントダウンによるホーム・バック同時スタートとする。

※プログラム記載のH/B記号は1kmTTではフィニッシュ位置、500mTTではスタート位置を示す。

イ 組合せの変更

欠場者及び機材トラブルなどの理由から出走できない場合は、単独発走となる。ただし、同様の選手が複数いる場合は出走番組が変更となる場合もある。

(7) スプリント

ア 予選上位12名により1/8決勝を行う。

イ 1/4決勝から2回戦制を行う。

(8) インディヴィデュアル・パーシュート

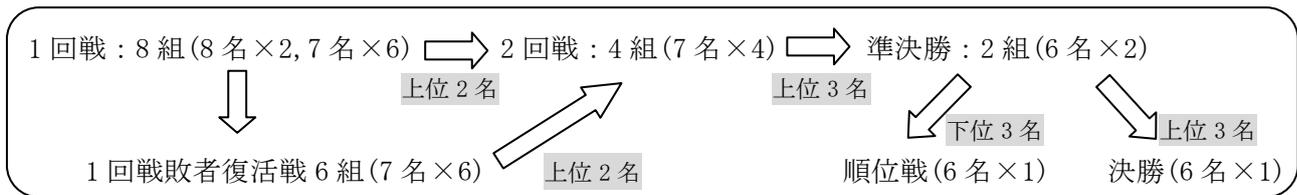
ア スタートはタイム・トライアルと同様とする。（H/Bの記号はフィニッシュ位置を示す。）

イ 予選の上位1・2位で決勝戦、3・4位で3～4位決定戦を行う。また、予選のタイムにより5～8位を決定する。

ウ 予選では追い付きが発生してもタイム測定のために完走すること。

(9) ケイリン

- ア ペーサーの離脱位置は残り 1. 5 周前付近とし、離脱時の速度は、50 km/h とする。
- イ 男子の組み合わせにおいては、以下のように行う



(10) スクラッチ,

- (男子) 予選 6 km 決勝 8 km (20名)
- (女子) 予選 4 km 決勝 6 km (14名)

(11) ポイント・レース

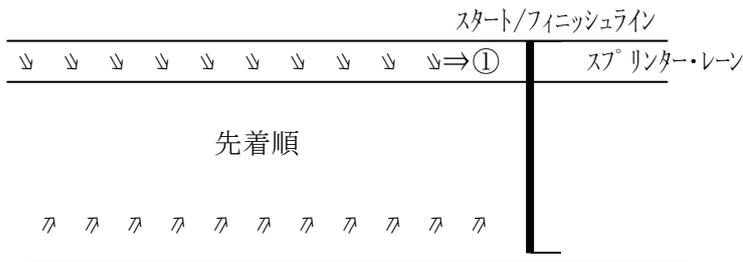
予選 12 km 決勝 24 km (24名)

(12) スクラッチ, ポイントレースの共通事項

ア スタート位置

下図のとおり指定されたレーンに先着順で、スタート位置に着く。
 なお、選手は各チームのホルダーに支えられた状態で、約半数がそれぞれイン・レーン、アウト・レーンに並ぶ。

※ただし、ヘルメットカバー（白）1番選手はインコースの先頭につく。



イ チームスタッフの待機場所について

代車・代輪を準備する場合チームスタッフは 1～2 コーナーの中間および3～4 コーナーの中間の 地点に待機する。

(13) ギア制限

16歳以下の場合も、JCF 競技規則ジュニアのギア比を上限とする。

ロード・レース

(1) 招集・検査

- ア 日時：3月23日(日) 9:00～9:40 あんずの丘 大会本部テント
スタート前 ジャージ, ヘルメット, ボディーナンバー, フレームプレート, 計測チップの
チェックおよびサインシートへの記入(フルネーム)
フィニッシュ後 上位20名程度は自転車・ギア比検査を実施する。

- イ シード 男子は昨年度の選抜大会, 本年度のインターハイ・国体の上位入賞者をシードし, 開催都道府県選手とともに最前列に位置する。女子は, 昨年度の選抜大会, 本年度の都道府県大会の上位入賞者をシードとする。その他の選手は先着順とする。

(2) 距離および走行について

(男子) 11.5km×7周回 80.5km

(女子) 11.5km×3周回 34.5km

完全交通規制された周回コースで実施するが, 男子はスタート直後, 大会運営上の理由により集団をコントロールする場合がある。

(3) スプリント賞

男子は1～3周回目に, 女子は1～2周回目に, フィニッシュ地点を1位で通過した競技者にスプリント賞を与える。(フィニッシュは除く)

(4) 山岳賞

男子は5, 6, 7周回目に, 女子は1, 2周回目に1位通過者に山岳賞を与える。

(5) 補給について

ア 男子について飲食物および機材の補給は, 5, 6周回目に指定場所で行う。

イ 移動車両によるニュートラルサービスを実施する。

(6) 関門での打ち切り

関門所はフィニッシュ地点とし, 毎周回8位を含む集団から5分以上遅れた競技者を打ち切りとして除外する。ただし最終周回は打ち切りをしない。